

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	65
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	祭りひさやま事業					
予算科目	10 款 5 項 8 目					
予算事業名	生涯学習推進費					
総合計画での位置づけ	町の文化を守り、育てる					
担当課	教育委員会	担当課長	森 裕子			
事業担当者	山邊 克彦		一次評価者	江上 智恵		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等						
事業の対象	全町民					
事業の目的	町民の生涯を通じた学習意欲の向上や生涯学習のまちづくりへの架け橋として、多くの町内外の方が祭りに参加することにより、日頃学習した成果を発表できる環境を整える。さらに活力ある地域社会を創造する文化のまちづくりをめざして、祭りひさやまを開催する。					
実施期間	開始年度	平成 5 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	作品展示、ステージイベント、出店バザー、花火大会等					
目的達成の指標	イベント参加人数					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	人	4,250	4,250	4,500	4,500
実績	人	3,672	2,927			
指標設定の考え方	町民等の生涯学習の成果や町民相互の連携を図る指標として、イベント参加者数や展示作品数を上げて行くことで、来場者が増えて行くことで、祭りに活力が生れるため、来場者数を指標設定する。					
事業遂行時懸案事項等	悪天候でない限り、ある程度の来場者数が見込まれる。出店者、出演団体が固定化しており、放置すれば出店者、出演団体ともに、減少していくことが予想される。					
事業実施時懸案事項対応等	出店者、出演団体の減少は緩やかに進行していたが、ここ数年は前年度と同程度の出店者、出演団体を維持できている。しかし、祭りひさやまを持続可能性のある事業にするには、新たな出店者、出演団体の発掘が必要であると考える。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 752 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.35	0.15	0.15	0.15
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,572	1,133	1,070	1,070
事業費	直接事業費	5,607	5,607	5,607	5,607
	人件費	2,572	1,133	1,070	1,070
	合 計	8,179	6,740	6,677	6,677
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,179	6,740	6,677	6,677
合 計	8,179	6,740	6,677	6,677	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	5,607	5,607	5,607	5,607	5,607
実 績	5,607	5,607			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
祭りひさやま実行委員会 への一般参加者数	人	10	10	10	10
		5	7		
祭りひさやま出演者数	団体	20	20	20	20
		14	20		
祭りひさやま出店者数	団体	20	20	20	20
		21	27		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 934 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算
事務量	① 人工数	0.35	0.15	0.35
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	2,515	1,133	2,761
事業費	直接事業費	5,607	5,607	5,607
	人件費	2,515	1,133	2,761
	合 計	8,122	6,740	8,368
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	8,122	6,740	8,368
合 計	8,122	6,740	8,368	

実施備忘録

自己評価	評価者	山邊 克彦
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input checked="" type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

生涯学習フェスタ祭りひさやまとなり、26回を重ね多くの町民や町外の方に親しまれる祭りである。参加者も年々増え町の情報発信や町内外の交流の場として、活気あるイベントとなっており必要性の高い事業と考える。

運営については、主にボランティアスタッフが中心となり町最大のイベントを盛会の内に行っており、地域に根付いた催しとなっているため主要な町の事業であると考え。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

出店者、出演団体の減少は緩やかに進行していたが、ここ数年は前年度と同程度の出店者、出演団体を維持できている。しかし、祭りひさやまを持続可能性のある事業にするには、新たな出店者、出演団体、一般参加による実行委員の発掘が必要であると考え。今後の祭りひさやま実行委員会において、特色のある地域人材を出演に活用するなど検討を行う。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	江上 智恵
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		4	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		4	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		4	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		4	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

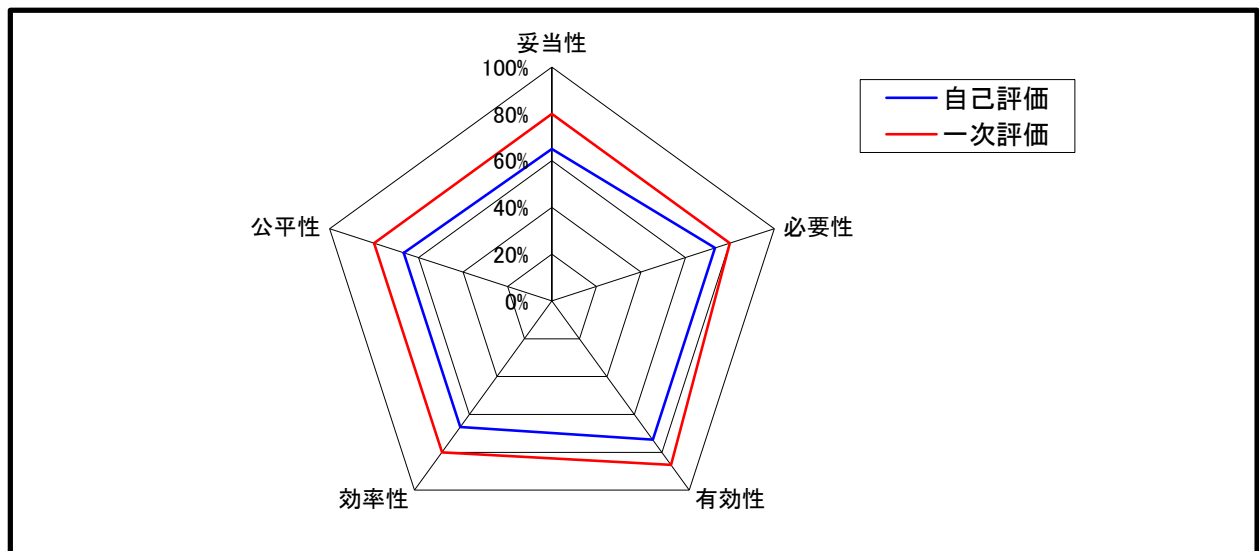


見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

31年度の祭りひさやまは、天候にも恵まれ多くの参加者があり盛り上がりがあったようだ。祭りひさやまは25年以上続く町民の祭りであり参加者も多い。今後は天候に左右されないような大型テントを設置するなどして施設面を改善する必要がある。祭りの実行委員会も、費用面のやりくりを行いつつ参加者が楽しめるような取り組みを行っており、今後の取り組みについても期待される。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	森 裕子
------	-----	------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

多くの住民が参加する一大イベントであり、実行委員会組織により運営がなされている。実行委員も若干であるが希望者もでてきている。今後も実行委員への参加を広く募集する。但し、経費も上昇している中で工夫が必要である。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

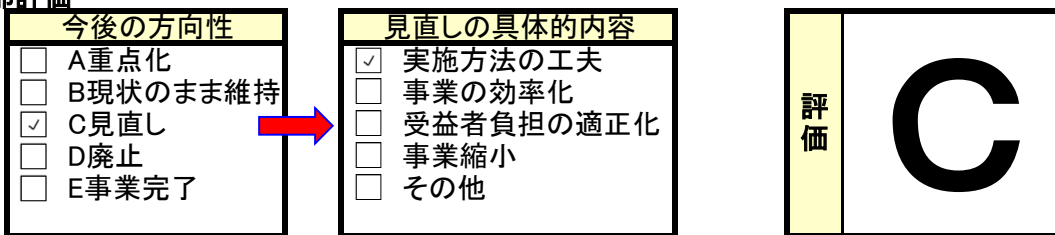


外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価



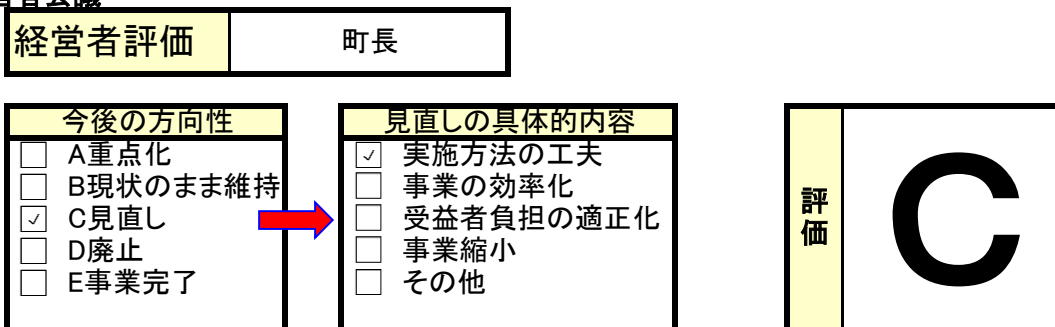
外部評価委員の意見

○評価
学習成果発表の場そして、町民の交流推進の場として必要な事業と捉えている。今後は、祭りの意義を再考すると共に、参加者(出演者、出展者、出店者)などの意見を取り入れながら、事業内容を見直す必要がある。

○課題
・実行委員のなり手不足、人員の固定化
・参加者の固定化
・来場者数の確保

○提案
・祭りの目的・実施内容などについて、実行委員会や参加者と共に検討する必要がある。
・教育部門だけでなく、観光・商工・農業など他課と連携して取り組む必要がある。
・参加者の満足度調査などをもとに、参加者が積極的に祭りを支えるような仕組みづくりを検討する必要がある。

経営者会議



経営者会議の評価

本事業は、生涯学習の成果発表を通した町民の交流拡大の場として実行委員会を中心に開催されている。町民をはじめ多くの方に長年愛されている祭りであり、町の賑わいを生んでいる事業であると考えられる。

今後は、開催趣旨を守りつつ、より多くの町民に興味を持っていただくために、新たな側面として観光・産業振興の魅力を取り入れることなどについて、出演者や出展者、出店者など祭りの運営に関わる方や来場者の声を基に協議されることを期待する。

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

今後の取り組みとして、令和2年度は開催中止となったが、令和3年度開催に向けて、実行委員会もしくは事業内容検討会を実施し、祭りの意義及び目的を改めて認識する機会を設ける予定である。

また、令和3年度以降は、これまで実施してきた参加者へのアンケート調査のみならず、実行委員(主催側)へのアンケートを実施し、内部と外部の両方の側面で事業内容の評価し、さまざまな視点からの評価を基に、事業改善へとつなげる。

さらに、より多くの町民に興味を持っていただき、参加したくなる祭りにするために、観光部門の事業を同時開催するなど、祭りの新たな展開やあり方を実行委員会において積極的に模索する。